

NST 通信

～臨時増刊号～



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な流行が広がる中、

日本臨床栄養代謝学会(JSPEN)にて対策チームを立ち上げ、COVID-19 に対する治療と予防に関する栄養学的アプローチの提言をまとめられましたので紹介致します。

提言1: 栄養評価の実施

呼吸器症状・悪心・嘔吐で
食事が十分摂取出来ない
消化吸收障害をきたす
→**低栄養になりやすい!**

治療経験のある医師によると、
治療開始前に栄養状態の評価を行うべき。

当院では、栄養状態の
スクリーニングツールとして、
SGA・MNA・CONUT
を使用しています



提言7: 経口摂取不十分症例に対する 経腸栄養の勧め

消化管の退行や機能障害の抑制のためにも、
経口摂取が不十分と判断された場合の第一選択は
経腸栄養を選択する事が望まれる。

提言8: 経腸栄養付加症例に対する 経静脈栄養の実施

呼吸困難の出現・症状が軽くても経口摂取が不良…
→この状態が続くと、

体重減少や骨格筋量・筋力の減少につながる
まず、確実に栄養補給可能な
経静脈栄養を実施して栄養障害を回避



提言2: 低栄養患者の栄養状態改善と NST 活動の推奨

低栄養からの早期回復が重要
特に、**2つ以上の慢性疾患を有する症例は高リスク症例。**
入院時から、適正・適切な栄養管理の実施を。

提言3: エネルギーと蛋白・アミ/酸投与の強化

呼吸困難などでエネルギーと蛋白が多量に消費
推奨エネルギー比

呼吸困難併発なし 脂質：糖質 3：7

人工呼吸器管理例 脂質：糖質 5：5

(代謝によるCO₂を軽減)

免疫割賦を考慮し、脂質はω3系を推奨する報告も。
(魚油・シソ油・エゴマ油に多く含まれる)



グルセルナ REX
脂質の割合が高く
糖疾患・
呼吸器疾患に配慮。

提言4: 微量元素の適正投与

ビタミンDの欠乏がウイルス感染症に関与。
ビタミンAも生体防御に関与し、特に小児で重要。
他、**ビタミンE、B₆、B₁₂、亜鉛、セレン**も
免疫能に関与し、欠乏が感染症の発症や重症化に
関与していると推察される。



ブイクレス
鉄・亜鉛・セレン
その他ビタミン12種配合

提言10: 気管挿管症例に対する、 適正栄養管理の実施

重症化症例では、経腸栄養のための
経鼻経管チューブの挿入が有用。
逆流回避のため、欧米では**チューブの先端を
幽門輪肛門側に誘導**する事を勧めている。



提言5: 隔離・待機状態における 継続的な運動と感染対策

パンデミックの抑制・鎮静には隔離処置が必要
→狭い生活空間→運動不足に!

→体重増加・骨格筋量の減少・筋力の減衰…
サルコペニア状態となり、**免疫能を障害**

★意識的に体を動かしましょう!

ビタミンDの生成を促す為にも、
週2回、15～30分ほどの日光浴が効果的



提言6: 経口的栄養補助食品の勧め

一般の食事にプラスして、100～200kcalほどの
栄養剤・食品を経口摂取する
経口的栄養補助(ONS)を勧める。

**ドリンクパス
ゼリーパス**
食事の補助として。



提言11: 感染症例に対する NST 活動の注意事項

COVID-19 症例の治療には NST 活動は不可欠
院内感染予防の観点より、
NST 回診は**カルテ回診と、検討会にて代用し、
接触を最小限にする事も重要。**

提言12: 社会栄養学の実施 — 予防が最大の治療 —

COVID-19 のような治療法や予防法が
確立していない伝染性の疾患では
その発生や予後は個々の免疫力に依存。
社会全体で低栄養の怖さを知り、元気に生き活きと
生きるための栄養管理(社会栄養学)という
新しい概念が重視されるようになってきている。

今後、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大はますます拡がると予想されます。
栄養状態を出来るだけ良好に保つことが、未知のウイルスに対する重要な対策となります。
患者さんの管理・ご自身の健康の管理にお役立てください。

※提言の詳細内容は日本臨床栄養代謝学会ホームページへ掲載されています。